

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2018年6月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 6 月 の 山 行 計 画 》

No. 3, 416 赤城自然園ウォーク

L 中神琳枝

光と緑あふれる初夏の自然園をのんびりと散策する癒しの森へ。

6月3日(日) 7:18 東京発高崎行=7:24 上野=9:17 高崎9:27=9:37 新前橋9:43 水上行=9:57 渋川10:10 (赤城自然園行シャトルバス) = (約20分) 赤城自然公園出入口 10:45 歩き出しーセゾンガーデンー自然生態園ー四季の森ーセゾンガーデン出入口

歩程：2時間30分+1時間30分……4時間 14:45 出入口に着く。15:45 発バス、時間によりシャトルバス、又はタクシーで渋川へ

地図：赤城自然園のマップ

費用：約8,000円 (交通費、シャトルバス代、入園料)

備考：シャトルバスは14:10 発もありますが、Lはのんびりと歩きます。

No. 3, 417 湯場ノ尾根から万六の頭北東尾根

 L 飯田隆一

6月3日(日) 8:11 立川発(特別快速あきがわ3号)=8:48 武蔵五日市9:00 (数馬行バス)=9:25 笹平 9:30 歩き出しー40分湯場ノ尾根取り付き点ー1時間15分744m点ー1時間湯場ノ頭(927m)ー40分万六ノ頭ー25分763m点ー35分643m点ー40分笹平バス停

歩程：5時間15分+1時間30分……6時間45分 16:15 笹平バス停に着く。笹平16:33=17:00 武蔵五日市

地図：2.5万図“五日市”

費用：約3,000円 (東京ー武蔵五日市970*2=1940、五日市ー笹平540*2)

=1080)

申し込み：6月1日（金）までに電話、FAX，SMSでリーダーへ。

備考：“静かなる尾根P30参照”

No. 3,418 坊がつる・九重山と由布岳 L 五十嵐知也

ミヤマキリシマで全山が紅に染まるという山の歌“坊がつる讃歌”の舞台を歩きます。

6月10日（日）7：37 別府駅前発亀の井バス（1,800円）＝9：27 九重登山口着－1時間50分坊がつる－1時間20分大船山－1時間30分“法華院山荘”（泊り9,000円）

歩程：4時間40分＋1時間20分……6時間 15：30頃山荘に着く。

6月11日（月）法華院山荘－2時間25分久住分れ－20分九重山－15分久住分れ－30分扇ヶ鼻分岐－55分牧ノ戸峠（バス）15：30＝16：14 中村駅 17：05＝17：31 湯布院駅－旅荘「七色の風」（泊り13,500円）

歩程：4時間25分＋1時間35分……6時間 15：00頃牧ノ戸峠に着く。

6月12日（火）「七色の風」－30分登山口－2時間30分由布岳－1時間日向岳－2時間30分鶴見岳（ロープウェイ）＝ロープウェイ駅（バス）＝別府駅 16：00頃着く。

歩程 6時間30分＋1時間30分……8時間

地図：昭文社“阿蘇・九重”

費用：約30,000円（他に別府までの費用）

申し込み：5月10日（木）までにCメールでリーダーへ。

No. 3,419 毛無山から十二ヶ岳 L 飯田隆一

6月16日（土）7：26 高尾発小淵沢行＝8：14 大月 8：18＝9：17 河口湖＝タクシー30分毛無山登山口 9：50 歩き出し－1時間30分毛無山－1時間30分十二ヶ岳－40分金山－10分節刀ヶ岳－25分金掘山－30分大石峠－1時間舗装路－30分大石ペンション村

歩程：6時間15分＋1時間30分……7時間45分 17：35 大石ペンション村に着く。タクシーで河口湖駅へ。

地図：2.5万円“河口湖西部”昭文社“富士山・御坂・愛鷹”

費用：約6,000円

申し込み：6月14日（木）までに電話、FAX，メールでリーダーへ。

備考：十二ヶ岳には岩場があります。注意が必要です。エスケープルートとして十二ヶ岳と金山の間から大石ペンション村へ下る事を考えてあります。この

場合は歩程が5時間10分になります。

No. 3, 420 天空回廊、赤薙山、丸山 <C> L 安藤 尚

6月22日(金) 東武鉄道リバティけごん1号 北千住 6:42 = 8:22 東武日光 東武バス(霧降高原・大笹牧場行) 8:45 = 9:10 霧降高原 すぐに歩き始め-25分霧降高原レストハウスで20分身支度-30分1445段の階段でキスゲ平展望台-70分赤薙山山頂-50分キスゲ平展望台-20分丸山山頂-30分八平ヶ原の分岐-30分霧降高原レストハウスで20分身支度-25分霧降高原バス停 ◇ 帰路霧降高原バス停 16:55(最終便) = 17:19 東武日光駅 17:32 発の南栗橋行に乗車、中目黒行または中央林間行に乗継ぎ20時前に北千住着。

歩程 : 5時間20分(身支度含む) + 2時間……7時間20分

地図 : 2.5万図 “日光北部” “鬼怒川温泉”

費用 : 5596円(北千住起算) 乗賃1358円×2 指定1440円×1 バス720円×2

申し込み : 6月16日までにメールまたは電話で。

備考 : 小雨時は滑る丸山を省きます。本降りの予報時中止。6月20日に判断。

《 3月の山行報告 》

No. 3, 396 蔵王坊平スノーシュー

パーティ : 女性4名/男性2名 計6名

3月1日(木) 小雨後小雪。前日の天気予報では春の嵐のため、通勤・通学の時間帯は電車が遅れるか、あるいは一部止まるかとの報道があったので、ヒヤヒヤしながら早めに家を出た。予定の新幹線に全員乗車出来まず安心。遅れる事もなく、かみのやま温泉駅に着く。タクシーで宿へ。昼食を済ませ、13時頃スノーシューを付けて近所のクロカンコースに行きウォーミングアップ。15時頃宿に戻る。夕方から新幹線が止まっているのを会長が心配して夜に電話をくれた。嬉しい。

3月2日(金) 嵐。これ以上悪くならない程の風と雪。でも少しだけ外に出た。時々ホワイトアウト。様子を見ながら30分程度散歩。宿泊予定だった野口ペンシ

ヨンの奥さんが雪かきをしていて、明日は晴れるから2日分楽しんでと言ってくれました。

(注) 宿泊予定であった野口ペンションのオーナーは体調をくずし入院したので急遽石井ペンションを紹介してもらいお世話になりました。

3月3日(土) 快晴。宿の車でレストラン近くのリフト乗り場へ。前日の嵐で上のリフトがまだ動いていないとの事、少し待ってみたが、その内に動くでしょうとオーナーが言うのでリフト券を2回分購入し、リフトに乗って行ったが乗り継ぎ予定のリフトは除雪が終わってなくまだ動いていない。オーナーが歩きましょうと声をかけてくれたのでスノーシューを付けてゆっくりと歩きはじめる。時々振り返り景色を眺めると最高!! 月山、朝日連峰、飯豊連峰が見え歓声をあげる。鳥海山が見えないのがちょっと残念。避難小屋付近の景色も昨日の嵐でモンスターが見事。樹氷も見事!!

火山性微動があるためか、お釜付近の上空をヘリコプターがパトロール? オーナーのガイドでゆっくりと下山。割と暖かいのでエコーラインで景色を眺めながら昼食、霧氷がキラキラ、空はあくまでも青い。とてもきれいな景色でした。レストランの所に車が止めてあるが、車で帰るのはもったいないので、時間もあつたしクロカンコースをゆっくりと宿まで歩く。着替えが終ってから帰りのバスまで時間があるので談話室で話がはずむ。

8:30 宿を出る。9:20 歩き出し-10:10 避難小屋-12:00~15 昼食-レストランライザ 13:00~30 (河野 記)

No. 3, 397 石老山 <C>

パーティ: 女性9名/男性1名 計10名

3月4日(日) 晴。新入会員も参加し、見物しながらゆっくり歩くという方針でのんびり歩いた。登山道を少し登り山名の由来となった石老山顕鏡寺に参詣し奇岩の数々を見物しながら登った。2つの展望台で休み11時頃に頂上に着き休憩の後高塚山へ往復した。再び石老山頂に戻りベンチでゆっくり昼食をとった。50歳前の若いI人旅の男性と仲良くなり入会を勧め、住所を聞き会報などを送る約束をした。この男性は30年ぶりの登山とのことでしたが、素直に山の話をしてくれた好成年で、皆でチョコレートやコーヒーをご馳走した。下りは大明神展望台経由でゆっくり下りた。

石老山入口 9:00-顕鏡寺 9:30~45-石老山 11:00~15-高塚山-石老山 12:00~30-大明神展望台 14:00~15-フォレスト前バス停 15:10 (五十嵐 記)

No. 3, 398 ウトウの頭

パーティ：女性4名／男性4名 計8名

3月17日(土)晴。川苔山は道路が崩れている為、川乗橋のバス停の入口で閉鎖されているので登山出来ないとバス関係者が言っていた。我々はバス停から数十メートルで道から外れると言ってもそれは出来ないとの事。困った。逆コースで歩く事も考えたが、あまりにも長時間になるので、急遽、ウトウの頭に変更することにした。幸い2.5万図は同じ地図なので何とかなるが、予習をしていないので不安が残る。日原鍾乳洞方面に歩き一石山神社から登り出した。いきなりの急登である。天気も良いし、皆さん快調なペース。体験の浅見さんも若いし頑丈そうな体格で、平気な顔をして付いてくる。途中昼食休憩をはさんで3時間30分でウトウの頭に到着。登っている間ずっと下りにどのコースを取るか考えていたが、1,602m p から西方面にモノレールがある筈なのでそのコースをたどる事にした。

1602m p に行ったがモノレールが見えない。しかもこの尾根には岩場が立ちふさがっていた。少し戻りウトウ沢から水源林巡視路に出ることにした。このコースは以前歩いているので大丈夫と思い、赤布の地点から下り始めた。30分位下れば左側から沢が現れその少し先に巡視路がある筈だが、出てこない。左の尾根に出て下る事にした。薄い踏み跡があるがすぐに消えてしまった。皆さんにも大分苦勞を掛けたが兎に角頑張ってもらうしかない。もう一度沢に下りたが危険なので尾根に登りかえすと巡視路にでた。それをたどり最後はロープを使って林道に下り立った。東日原のバス停に着いたのは17:50、最終バスで奥多摩駅に向った。参加の皆さんには大変な迷惑を掛け申し訳ありませんでした。深く反省しています。

東日原バス停 9:10—一石神社登山口 9:35—一石山 10:35—人形山 11:10—金袋山 11:35~12:00—篤坂ノ丸 12:20—ウトウの頭 13:00~20—林道 16:20—東日原バス停 17:50 (飯田 記)

No. 3, 399 梅の木尾根～イタツミ尾根 < A >

パーティ：女性3名／男性3名 計6名

3月24日(土)晴れ後曇り時々薄日。日向薬師バス停を快晴の中歩き出す。薬師堂に参拝して日向山方面に向かう。日向山分岐から梅の木尾根へ、二の沢の頭迄緩やかな尾根で、シキミの花を教えて頂く。ダンコウバイ(春の山の花)か、アブラチャン、サンシュユか、私には分からない花々。キブシの蕾はこれから開花に向けて大きく美しくなるでしょう。778m点で、20分間の昼食タイムを取り、此処から大山、唐沢峠方面に向った。893m点 12時(大山 1.8K・分岐・不動尻 2.7K)にこの辺から雪景色に変わりました。残雪の中に馬酔木の花が咲く山々を

写真に収める。1,080m点の階段上は残雪で埋もれている。女性3名が他のグループからヤビツ峠バス運行中止の情報を得た為、頂上で5分休み、ただちに下山を始める。雪の中ストックを使わず歩く2人もいたが、ヤビツ峠迄は残雪で慎重に歩く自分が情無い。目の前の丹沢の山々はまだ冬景色でした。プラス1時間の歩程となるが、蓑毛バス停迄頑張った。バス停手前の名水の湧き水近くで、三俣の花に全員歓声を上げる。(見上げれば山一面、三俣の匂いが降り注ぐ、此を写真に収める。) 蓑毛バス停で解散した。

日向薬師バス停 8:25—日向山分岐 9:00—537m 9:45—ニノ沢の頭 674m 10:25—大沢分岐 721m 10:50—大山・唐沢峠方面 778m 11:10 昼 11:30—阿夫利神社 1,252m 13:35—ヤビツ峠 15:05—蓑毛バス停 16:20 着。 (佐藤(正) 記)

No. 3,400 秩父の谷でフクジュソウを見る < B >

パーティ：女性4名 計4名

3月25日(日) 晴。3月中旬の気温上昇で堂上のセツブンソウはすっかり終わっているとの情報を得たので、下山をツツジ新道から鳥居山コースに変更してのんびり山行にした。休憩舎上部のトサミズキ(植栽されたもの)が今は盛りと咲いていた。両神神社奥社までは歩きやすいハイキング道。しかし、ここからトラバース道を進むと先は山頂まで鎖場の急登。ちょっと緊張した。帰りは奥社まで戻り北側の鳥居山ハイキングコースを下った。バス時刻の時間調整で梅・桃・すみれが満開の観景亭でのんびり休憩した。

宿に入る前、武州中川の枝垂桜で有名な清雲寺に寄ってみたが、こちらは残念。まだ1分咲きの桜だった。宿(武州中川の民宿「すぎの子」)の食事に満足して、明日を考え早めに床についた。

9:20 薬師堂—薬師堂コース—9:55 車道横断—10:20~30 展望休憩舎—11:10~40 四阿屋山—12:00 両神神社奥社—鳥居山コース—13:20~14:20 観景亭—14:30 両神道の駅

3月26日(月) 晴。インターネットで過去の記録を調べ、地図とGPSを駆使しての登山となった。ずいぶんテープも増え、危ないトラバース道にはトラロープが設置されていた。それでも一般登山道とは違い何回か緊張を強いられた。カラ沢に入ってからはずっと踏み後が続いていた。数日前に降った雪もその後の気温の上昇でアイゼンの出番はなかった。

カラ沢源頭部のフクジュソウは盛りの後半で、やっと間に合ったという状況。しかし大変な登山の後に見る花は格別で参加者全員満足し、充実した1日だった。

7:45 浦山大日堂—7:50 川俣橋—9:50~10:00 カラ沢出合—休み10分—12:00~40 フクジュソウ群生地—13:40 大ドッカー—休み10分—15:00 61号鉄塔—15:35

No. 3, 401 秋ヶ瀬橋から新河岸川・柳瀬川

パーティ：女性4名 計4名

3月25日(日)晴。秋ヶ瀬橋から歩き出す。風もさわやかで絶好のお花見日和、宗岡地区入ると田園地帯が広がり一部を除いて車の通行は少ない。道のほとりに咲く花々に目が点になる。オドリコソウ・イヌフグリ・モモ・ボケ・レンギョウ・スイセン・モクレン・ヤマブキ・サクラ類、、、花を楽しみながらの散歩です。林の中に下ノ宮氷川神社がある。村の守り神で参拝。宗岡小学校を過ぎると宮戸橋通りに出る。新河岸川を渡り宮戸神社へ。川を渡り返し、堤防に上がる。江戸・昭和・平成と三代の堤防が現存します。洪水の進入を防ぐという考えで築かれる。さくらの古木が多い河畔で花見を楽しむ人、花に恵まれ、ピンクのリボンもゆれている。花に囲まれランチも最高です。やがて新河岸川と柳瀬川が合流する「いろは親水公園」に着き休憩。いろは橋に出て橋を渡り敷島神社へ向かう。「こもれびのこみち斜面林」から住宅街に出て敷島神社へ。境内に田子山富士塚があり文化財に指定されています。石造遺物が多く登ることができます。メンバーは山頂へ。Lは下で休憩。元へ戻り宝幢寺に向う。創建は建武元年(1334)といわれる古刹、境内には立派なシダレザクラが数本あって見事なサクラに思わず声が。この先は柳瀬川の桜堤へ、堤防の上にあがり足裏にやさしい道から河川敷に出て、ゆったり流れる川の景観を楽しみながら最後の休憩、土手に上がり桜堤をたどり柳瀬川駅に向かう。さわやかな風の吹くなか往時の活性事業であったいろは樋跡、舟運と街道で栄えた市場跡、古社寺、文化財など訪ねた有意義な一日でした。

秋ヶ瀬橋歩き出し 10:35—宗岡エリア 10:40—下ノ氷川神社 11:15~20—宮戸橋 11:45—宮戸神社 11:55~12:05—新河岸川桜並木 12:15~55—いろは親水公園 13:30—いろは橋 13:40—こもれびのこみち 14:15—田子山富士塚 14:30~45—宝幢寺 15:00~30—柳瀬川 15:45—柳瀬川駅 16:10 (中神 記)

No. 3, 402 鳥ノ胸山から畦ヶ丸 < B >

パーティ：女性5名／男性1名 計6名

3月31日(土)晴。「道の駅道志」へ向かうタクシーの中から満開のお花見をした。道の駅では先日降った雪が脇にどけられていて桜はまだ少し早い様であった。人にあふれる道の駅から橋を渡って歩き出した。道志川の支流に沿って登り始めたらすぐに道路工事にぶつかり左へ臨時のコースに入った。鳥の胸山までは急登の連続で途中一息も二息もつかねばならなかった。真白な富士山が美味しそうなアイスクリームのように見えていた。道志の湯の道標に従い、急角度で下り

登りかえして雑木の頭、傾斜が楽になって、浦安峠を通り大界木山へ。もう畦ケ丸は目の前だ。途中単独行の登山者2人と会う。畦ケ丸に珍しく登山者が一人もいなかった。山は冬がやっと終わったところで山桜も咲いていない。下りにかかり大滝峠上に来たらミツマタの花が出迎えてくれた。大滝沢は荒れていて渡渉をくり返した。早くバス停に着いて解散した。今日のロングコースを皆さん元気に歩きました。

道の駅道志歩き出し 9:10—鳥の胸山 10:30~40—雑木の頭 11:10—平指山 11:30—大界木山 12:15~45—モロクボの頭 (1144m) 13:20—畦ケ丸 14:00~20—軒家避難小屋 15:25—大滝橋バス停 16:15 16:32 のバスで新松田駅へ

(飯田 記)

《 2018 年度総会の報告 》

議題 1) 細則の改定

承認されました。(添付資料 1 参照)

議題 2) 2017 年度会計報告及び 2018 年度予算 (添付資料 2 参照)

承認されました。

議題 3) 役員の変動

(新任) 菊地玉記、山田広子、飯島正子、村田美和子、安藤 尚

(退任) 神戸千賀子、佐藤正信、佐近よし

以上全員が承認されました。

なお、役員の変当は下記。

会長：阪本弘二、

副会長：瀬川仁子、大塚康彦

会計：村田美和子

会計監査：(松永道子)、大塚康彦

保険事務：大塚康彦

会報作成：瀬川仁子、阪本弘二、飯田隆一

入会事務担当：大塚康彦

山行計画担当：佐藤ツヤ子、中神琳枝、瀬川仁子、菊地玉記、阪本弘二、飯田隆一、河野良子、大塚康彦、山田広子、飯島正子、五十嵐知也、森戸ふみ、安藤 尚

《 お知らせ 》

☆ 山行時には地図と磁石は必ず持つ習慣を付けてください。

☆ 7月の山行予告

6月30日(土)～7月1日(月) 障子ヶ岳 <A> L飯田隆一

7月28日(土)～31日(火) 立山・室堂山 <A> L五十嵐知也

雷鳥沢に幕営し立山、室堂山などを回遊します。

☆ 次の方が入会しました。

No. 587 高田喜代美

☆ 次の方が退会しました。

No. 266 畑石慶輝、 No. 538 山口布美子、 No. 573 堀坂祥子

☆ 6月の役員会は6月6日(水) 練馬区役所 1907室 17:00～19:00です。

5月の役員会の時間と会場が変更になりました。

5月2日(水) 練馬区役所 1906室 17:00～19:00です。

☆ 7月の山行計画及び山行報告を4月30日(月)までに飯田まで提出して下さい。